

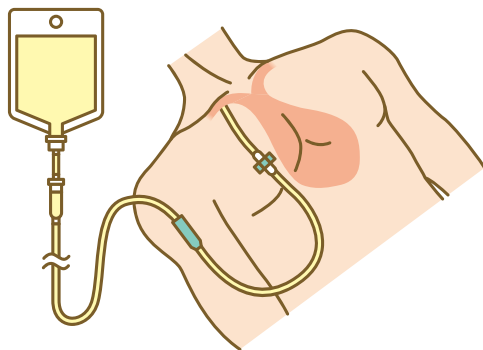
短腸症候群について 知っていただきたいこと

監修 上小鶴 孝二 先生 兵庫医科大学 消化器内科学講座 助教

私は、通常より腸が短く（短腸症候群）、
必要な栄養素や水分を吸収することが難しい状態です。
そのため、不足する栄養・水分を補助するために、
カテーテルという器具を使い、栄養剤を血管に直接投与しています。
生活するにあたり、いくつか注意点があるものの、
普段は健常者と変わらない生活を送ることが可能です。
就業にあたり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、
ご理解、ご協力いただけますよう何卒よろしくお願いたします。

カテーテルについて

腸を通さずに栄養を取り入れるため、心臓
近くの太い血管の中にカテーテルと呼ばれ
る細い管を挿入しています。
鎖骨や首のあたりから出ている管に点滴を
つなぎ、栄養剤の投与を行います。
また、皮下埋め込み型ポートと呼ばれる、
外からは目立ちにくいカテーテルを使用
している場合もあります。
日常生活を送る中で、カテーテルが抜ける
ことはありません。
また、日中に栄養投与を行う場合は、必要な
器具と栄養剤を所持していることもあります。
必要に応じて適宜ご相談させていただきます。



中心静脈栄養（TPN）
鎖骨や首、太ももあたりから心臓近くの血管に
カテーテルが入っています

日常業務においてお伝えしたいこと



発熱について

カテーテルを入れていることにより、感染症が起きることがあります。発熱が見られた場合はすぐに医療機関を受診する必要がありますので、その際にご相談させていただきます。
入院が必要となりご迷惑をおかけする可能性があること、ご理解いただけますと幸いです。



脱水について

脱水が起こりやすい体質なため、業務内容によっては水分補給のタイミングについてご相談させていただく場合がございます。



トイレについて

食事の直後などトイレの頻度が高い場合がございます。ご理解いただけますと幸いです。



外食について

食事管理を実施しているため、皆様と同様の食事を摂ることが難しい場合があること、ご理解いただけますと幸いです。



宿泊について

出張等で宿泊が発生する場合、主治医との相談が必要になることがあります。必要に応じて適宜ご相談させていただきます。

自由記入欄

連絡先

(氏名)

緊急連絡先



武田薬品工業株式会社